

一般社団法人 日本多胎支援協会

Japan Multiple Births Association

第10回 通常総会 議案書

【日時】 2019年6月29日(土) 18:00～18:30(受付開始17:45～)
【場所】 佐賀勤労者総合福祉センター(メートプラザ佐賀) 多目的室
佐賀市兵庫北3丁目8番40号

<次第>

- 1, 開会の言葉
- 2, 代表理事 挨拶
- 3, 議長選出・議事録署名人選出
- 4, 定数の報告
- 5, 議案
 - 第1号議案 2018年度(第10期)事業報告の件
 - 第2号議案 2018年度(第10期)収支決算報告の件
 - 第3号議案 任期満了による役員改選について
 - 第4号議案 2019年度(第11期)事業計画(案)の件
 - 第5号議案 2019年度(第11期)収支予算(案)の件
- 6, 議長解任
- 7, 閉会の言葉



一般社団法人
日本多胎支援協会
Japan Multiple Births Association

2018年度活動報告

月	事業 ◇:キリン福祉財団助成事業 △:関連団体主催事業 [参加者数]	運営
4月	◇全国フォーラム打合せ(12-13日北海道札幌市・旭川市・鷹栖町)	
5月		
6月	◇各事業会議 / 第1回理事会・第9回総会(9日北海道旭川市) ◇第9回全国フォーラム[120名]・△ランチ交流会(10日北海道旭川市) ◇子育て支援者研修会打合せ(13日京都府京田辺市) 業務執行理事会(30日埼玉県新座市)	
7月	愛育病院訪問(7月13日東京都港区) ◇ファミリー教室運営講座打合せ(22日東京都北区) ◇子育て支援者研修会(28日京都府京田辺市)[14名] ◇ファミリー教室運営講座(7月30日)[31名]	
8月	看護協会訪問(1日東京都渋谷区)	・JAMBA NEWS発行 (No.57~59号+号外)
9月	◇事業会議/第2回理事会(7-8日大阪府大阪市) ◇ポケットブックチーム会議(27日大阪府大阪市)	・HPの更新(随時) ・情報提供
10月	日本公衆衛生学会発表(10月24日福島県郡山市)	
11月	◇△ファミリー教室(18日東京都北区)[36名] TWINS WEEK(4~10日) △ツインリサーチセンターふたごフェスティバル参加(18日大阪府吹田市) 日本子ども虐待防止学会参加(30日-12月1日岡山県倉敷市) ◇ポケットブックチーム会議(27日大阪府大阪市)	
12月	業務執行理事会(22日NET会議)	
1月	日本双生児研究学会参加(12日大阪府大阪市) ◇事業会議/第3回理事会(13日大阪府大阪市)	
2月	「ツインズデーに乾杯」(22日JAMBA設立記念日)	
3月	◇ポケットブック第1稿完成 嘆願書(名古屋高等裁判所宛)集約活動開始	

第2号議案

2018年度(第10期)収支決算報告

(2018年4月1日～2019年3月31日)

一般社団法人 日本多胎支援協会

単位:円

収入の部

項目	2018年度予算	2018年度決算	備考
会費収入			
正会員会費	250,000	190,000	10,000円×19名
賛助会員会費	320,000	252,000	団体会員10団体(前年度分1含)、多胎家庭39口(37名)、一般会員5名
会費収入小計	570,000	442,000	
助成金収入	1,000,000	1,000,000	キリン福祉財団
賛助	450,000	380,028	フォーラム参加者、会員等より
雑収入	20,000	45,384	ファミリー教室テキスト代、取材協力費(たまごクラブ)
受取利息	20	18	
収入合計	2,040,020	1,867,430	

支出の部

項目	2018年度予算	2018年度決算	備考
I. 事業費			
旅費交通費	450,000	1,146,744	全国フォーラム・研修会等講師・スタッフ、事業会議他
通信費	40,000	35,370	報告書・全国フォーラム案内・メルマガ・資料他発送料
謝金	230,000	112,454	全国フォーラム・研修会等講師・外部委員、調査協力者他謝金
会場借料	80,000	31,540	全国フォーラム・事業会議他会議室使用料
制作費	100,000	11,554	全国フォーラム案内・資料等
消耗品費	40,000	2,626	封筒、印刷用紙他
会議費	40,000	52,045	会議用等茶菓子代
支払手数料	4,000	2,646	振込手数料
賃金	0	0	
雑役務費	12,000	5,000	託児費
諸会費	37,000	34,584	ICOMBO・ひろば全協年会費、虐待防止学会参加費
事業費支出小計	1,033,000	1,434,563	
II. 管理費			
旅費交通費	140,000	59,040	総会
通信費	35,000	31,017	郵送料、サーバー使用料
謝金	200,000	144,000	活動協力謝金
会場借料	10,000	0	
制作費	12,000	12,960	HP管理費
消耗品費	10,000	0	
会議費	5,000	0	
支払手数料	2,000	432	振込手数料
法人住民税	22,000	22,000	兵庫県県民税
備品費	0	0	
予備費	10,000	0	
管理費支出小計	446,000	269,449	
支出合計	1,479,000	1,704,012	

2018年度の収入-支出	163,418	
2017年度より繰越金	577,956	

項目	2018年度予算	2018年度決算	備考
次期繰越収支差額	561,020	741,374	

正味財産増減計算書

自 2018年4月1日 至 2019年 3月31日

単位:円

(正味財産増減の部)			
正味財産増加の部			
1	資産増加額		163,418
2	負債減少額		0
	増加額合計		163,418
正味財産減少の部			
1	資産減少額	当期収支差額	0
2	負債増加額		0
	減少額合計		0
	当期正味財産増加額(減少額)		163,418
	前期繰越正味財産額		577,956
	当期正味財産合計		741,374

貸借対照表

2019年 3月31日現在

単位:円


資産の部		負債の部	
【流動資産】		【流動負債】	
現金及び預金	788,334	未払法人税	22,000
		前受金	12,000
		未払金	12,960
流動資産合計	788,334	流動負債合計	46,960
		負債の部合計	46,960
		正味財産の部	
		【一般正味財産】	
		前期繰越正味財産	577,956
		当期正味財産増加額	163,418
		一般正味財産合計	741,374
資産の部合計	788,334	正味財産の部合計	741,374
資産合計	788,334	負債及び正味財産合計	788,334

監査報告書

一般社団法人 日本多胎支援協会

代表理事 布施 晴美 様

令和 1 年 6 月 20 日

監 事 吉井 一美 

監 事 A 高 真 

私たち監事は、一般社団法人日本多胎支援協会の平成30年度(第10期)の事業運営及び会計事務を監査した結果、当法人の運営及び事務処理は適正になされており、事業報告書及び収支決算書は、正確であることを認めます。

以上

2019年度役員(案)

五十音順

役割	氏名	所属
代表理事	布施 晴美	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 教授
理事	糸井川 誠子	NPO法人ぎふ多胎ネット 理事長/多胎児サークルみど・ふあど
	大岸 弘子	おおさか多胎ネット 幹事/ひょうご多胎ネット 幹事/ツインマザースクラブ 役員
	太田 ひろみ	杏林大学保健学部 教授/多摩多胎ネット代表
	大高 恵美	日本赤十字秋田看護大学 看護学部看護学科 准教授/あきた多胎ネット 理事
	落合 世津子	大阪大学大学院ツインリサーチセンター 招へい教授/おおさか多胎ネット 代表
	玄田 朋恵	NPO法人いしかわ多胎ネット 理事/ 多胎育児サークルピーナッツ・キッズ・クラブ 代表
	佐藤 喜美子	元 杏林大学 准教授
	志村 恵	金沢大学 国際学類 教授/NPO法人いしかわ多胎ネット 理事
	田中 輝子	NPO法人ホームスタート・ジャパン 理事/埼玉ホームスタート推進協議会 事務局
	天羽 千恵子	ひょうご多胎ネット 代表/多胎児子育て支援グループマミーベアーズ
	中原 美智子	(株)ふたごじてんしゃ 代表取締役/NPO法人つなげる 代表理事
	中村 由美子	さが多胎ネット 代表/佐賀女子短期大学 非常勤講師
	服部 律子	岐阜県立看護大学 看護学部 教授/NPO法人ぎふ多胎ネット
	日下田 貴政	京都新聞社 記者
	平石 皆子	山形県立保健医療大学 准教授
	松葉 敬文	岐阜聖徳学園大学 経済情報学部 准教授
	松本 彩月	金城学院大学 非常勤講師/一般社団法人あいち多胎ふぁみーゆ 理事
村井 麻木	ツインズクラブ久留米 代表/ファミリー・サポート・センターくるめ	
監事	高山 ゆき子	しずおか多胎ネット 代表/ 多胎児サークルころころピーナッツ・プレころピーナッツ 代表
	吉井 一美	北九州市多胎児の会ツインスタークラブ
顧問	加藤 則子	十文字学園女子大学 副学長 人間生活学部幼児教育学科 教授
	末原 則幸	元大阪府立母子保健総合医療センター 副院長
	杉浦 祐子	ツインマザースクラブ 会長
	平岩 幹男	Rabbit Developmental Research 代表

2019年度活動計画 (案)

月	<p style="text-align: center;">事業</p> <p style="text-align: center;">◇:キリン福祉財団助成事業 △:関連団体主催事業</p>	<p style="text-align: center;">運営</p>
4月	<p style="text-align: right;">嘆願書(名古屋高等裁判所宛)集約活動</p> <p>◇第10回全国フォーラム打合せ(12-13日佐賀県佐賀市、伊万里市、唐津市、鳥栖市)</p> <p style="text-align: center;">◇ポケットブック作成</p>	
5月		第1次集約分提出
6月	<p>業務執行理事会(4日NET会議)</p> <p>日本小児保健学会発表(21日東京)</p> <p>記者会見、事業会議、第1回理事会、第10回通常総会(29日佐賀県佐賀市)</p> <p>◇第10回全国フォーラム/△ランチ交流会・多胎支援研究会(30日佐賀県佐賀市)</p> <p style="text-align: center;">◇ポケットブック3冊完成</p> <p style="text-align: center;">◇ポケットブック作成</p>	第2次集約分提出
7月	<p>◇△ファミリー教室運営講座(7日山口県周南市)</p> <p>助産師研修会(27日東京都文京区)</p>	最終提出
8月		JAMBA NEWSの配信 (年4回+α)
9月	△さが多胎ネットファミリー教室運営講座(佐賀県佐賀市)	HPの更新 立ち上げ支援
10月	<p>専門職研修会(12日東京都渋谷区)</p> <p>◇△ファミリー教室(日時未定山口県周南市)</p>	情報提供 講師派遣 (随時)
11月		TWINS WEEK啓発活動 ↓ TWINS WEEK(4-10日)
12月	<p>△さが多胎ネットファミリー教室(佐賀県佐賀市)</p> <p>日本子ども虐待防止学会参加(21日~22日兵庫県神戸市)</p> <p>業務執行理事会(日時未定ネット会議)</p>	
1月	<p>日本双生児研究学会参加(11日石川県金沢市)</p> <p>第2回理事会(12~13日石川県金沢市)</p>	◇次年度事業説明 (2カ所程度)
2月	「ツインズデーに乾杯」(22日・JAMBA設立記念日)	
3月		

第5号議案

2019年度(第11期)収支予算 (案)

(2019年4月1日～2020年3月31日)

一般社団法人 日本多胎支援協会

収入の部

単位:円

項目	2018年度決算	2019年度予算	備考
会費収入			
正会員会費	190,000	250,000	10,000円×25名
賛助会員会費	252,000	320,000	団体会員12、多胎会員50、一般会員10
会費収入小計	442,000	570,000	
助成金収入	1,000,000	1,000,000	キリン福祉財団
賛助	380,028	400,000	
雑収入	45,384	120,000	F教室テキスト代@300×100冊、ポケットブック@300×100×3号
参加費収入	0	800,000	専門職研修会(2回)
受取利息	18	20	
収入合計	1,867,430	2,890,020	

支出の部

項目	2018年度決算	2019年度予算	備考
I, 事業費			
旅費交通費	1,146,744	1,550,000	全国フォーラム、F教室、学会他
通信費	35,370	96,500	事業案内・メルマガ等送付料、資料他発送料
謝金	112,454	216,955	全国フォーラム講師、活動協力謝金
会場借料	31,540	210,000	全国フォーラム、事業会議等会場使用料
制作費	11,554	522,380	全国フォーラム案内・資料、ふたごポケットブック、封筒等印刷費
消耗品費	2,626	57,000	封筒・印刷用紙・プリンターインク他
会議費	52,045	45,800	茶菓子、弁当代
支払手数料	2,646	5,000	振込手数料
賃金	0	0	
雑役務費	5,000	0	
諸会費	34,584	35,000	ICOMBO・ひろば全協年会費、虐待防止学会参加費
事業費支出小計	1,434,563	2,738,635	
II, 管理費			
旅費交通費	59,040	20,000	理事会・総会旅費、スタッフ交通費
通信費	31,017	35,000	郵送料・サーバー使用料
謝金	144,000	150,000	活動協力謝金
会場借料	0	5,000	総会・理事会会場費
制作費	12,960	70,000	HP管理費、団体リーフレット
消耗品費	0	5,000	プリンターインク・文房具他
会議費	0	5,000	茶菓子、弁当代など
支払手数料	432	1,000	支払手数料
法人住民税	22,000	22,000	兵庫県県民税
備品	0	0	
予備費	0	0	
管理費支出小計	269,449	313,000	
支出合計	1,704,012	3,051,635	

項目	2018年度決算	2019年度予算	備考
次期繰越収支差額	741,374	579,759	

平成30年度 計画助成事業実施報告書

平成 31年4月18日

公益財団法人 キリン福祉財団 御中

(〒651-2242)

住 所 兵庫県神戸市西区井吹台東町3-2-8-202

団 体 名 一般社団法人日本多胎支援協会 (印)

代 表 者 布施 晴美 (印)

T E L 078-992-0870 F A X 078-992-0870

貴財団より助成を受けた事業について、下記の通り実施報告をいたします。

1. 事業名	どこでも安心して多胎児を産み育てられる環境づくりのためのステップアップ事業
2. 事業目的	適切な情報が得られず、社会的に孤立し、ともすれば虐待や育児不安に陥りがちな多胎家庭が、地域格差なく安心して妊娠・出産・育児を行える環境づくりを推進する。
3. 事業概要	<p>上記の目的を果たすために、以下の3つの事業を行い、その遂行のために委員会を組織し、全体事業会議とチーム会議を行った。また、各事業の次年度実施のための広報と準備活動も並行して行った。</p> <p>I) 全国フォーラム II) 妊娠期からの多胎ファミリー教室（以下「多胎ファミリー教室」と表記）開催支援事業 III) 『ふたごポケットブック』普及事業</p>
4. 事業時期 内容	<p>I) 全国フォーラム 6月10日（旭川市子ども総合相談センター研修室） 「今、多胎支援が必要な理由は？～多胎家庭の現状と支援～」 参加120名</p> <p>II) 妊娠期からの多胎ファミリー教室開催支援事業 協力団体 東京多胎ファミリー教室プロジェクト（会場 東京都北区 北とぴあ） ① 多胎ファミリー教室運営講座 打ち合わせ 7月22日、実施 7月30日 参加者31名 ② 多胎ファミリー教室 11月9日 打ち合わせ、11月18日 実施 参加者36名</p> <p>III) 『ふたごポケットブック』普及事業 9月7日 検討会議（大阪市 ココプラザ） 外部委員1名 理事4名 9月27日 ポケットブックチーム第1回会議（同） 理事4名 11月27日 ポケットブックチーム第2回会議（同） 理事4名 12月～3月 ポケットブック1～4号 執筆</p> <p>IV) 全体事業会議 6月9日（旭川市子ども総合相談センター研修室） 理事 12名 9月7日～8日（大阪市ココプラザ） 理事12名 1月13日～14日（大阪市ココプラザ） 外部委員1名、理事13名</p>

<p>5. 事業成果</p>	<p>I) 全国フォーラム 今年度は、これまでの政令指定都市等「都市型」の地域ではなく、多胎出産数がそれほど多くはない「地方型」の地域での開催を試みた。今回は、厚生労働省・北海道庁だけでなく、現地の当事者団体が長年支援を受けている社会福祉協議会の協力も得ることが叶い、北海道全体への開催告知ができ、交通の便も決して良くない場所での開催であるにも関わらず、北海道内外から120名という参加者が得られた。本フォーラムでの内容が参加した行政・医療の専門職にも響き、これまで支援が何もなかった地域で、多胎の集いの開催をはじめ、多胎家庭への支援が検討されている。 次年度開催候補地の佐賀のメンバーの参加も得て、次年度の佐賀開催が正式に決定した。</p> <p>II) 「専門職と当事者が連携した多胎ファミリー教室開催支援事業」 今年度の事業では、複数の地域で活動する当事者団体が「多胎ファミリー教室」の開催を目的とする団体を新たに立ち上げ、本事業実施に取り組んだ。各当事者団体の地域での活動実績は短く、行政や医療とのつながりが少なかったために事業告知では苦戦したが、SNSやメディア等を活用する発信で、最終的にはファミリー教室の参加者は36名となった。この発信方法は、今後の当協会の活動にも大変参考になるものであった。当該団体は、本事業を成し遂げ、多胎ファミリー教室の継続開催を目指して新年度の助成金を獲得すると共に、他の多胎家庭への支援事業も展開しようと団体名を改称して活動を広げている。</p> <p>III) 『ふたごポケットブック』普及事業 新規事業として、どの地域にいても、時期や家庭の必要に応じて正確な多胎情報が得られるようにと考え、1冊16～20頁程度のミニ冊子を『ふたごポケットブック』と命名し、シリーズ化して発行することとなった。 今年度は、外部委員1名を招き、本事業についての検討会議を3回実施して、3冊の執筆に取り組み、来年度の冊子化への準備を行えた。</p>
<p>6. 今後の計画</p>	<p>平成31年度も貴財団より継続してご助成いただけることになり、深謝申し上げます。今後については、平成31年度計画事業助成申込書に記載したとおり、I) 全国フォーラムは佐賀県佐賀市で、II) 妊娠期からの多胎ファミリー教室開催支援事業は岡山県倉敷市で、それぞれ実施する予定である。また、次年度新たに「多胎ファミリー教室」事業に取り組もうと、助成金を申請中の団体からのオファーや問い合わせもすでに複数届いており、今後も全国的な普及を目指す。『ポケットブックシリーズ』は印刷・製本し、全国フォーラムをはじめ、各地での販売・配布を目指し、普及活動を行う予定である。</p>

平成30年度 会計収支報告書

平成31年4月18日

団体名 一般社団法人日本多胎支援協会 (印)

収入の部

	項 目	金 額						備 考
		十 万	万	千	百	十	円	
1	キリン福祉財団助成金	1	0	0	0	0	0	
2	自己資金		5	2	8	2	7	
3								
4								
5								
6								
	(A) 合 計	1	0	5	2	8	2	7

支出の部

	項 目	金 額						備 考
		十 万	万	千	百	十	円	
1	謝 金(講師料など)		1	9	0	0	0	全国フォーラム協力謝金@3,000×3家庭, 会議出席者金 @5,000×2日
2	旅 費・交 通 費		9	1	7	2	7	8 交通費849,278円, 宿泊費68,000円
3	消 耗 品 費				2	6	2	6 クリアホルダー等1,096円, 封筒78円, コピー用紙1,452円
4	制 作 費				7	6	8	9 全国フォーラム案内印刷2,689円, 当日資料印刷5,000円
5	通 信 費			2	5	6	0	1 宅配料12,596円、郵送料13,005円
6	会 場 費			3	1	5	4	0 全国フォーラム2,850円、チーム会議3,080円, 事業会議25,610円
7	その他(託児費)				5	0	0	0 全国フォーラム託児費
8	その他(会議費)			4	4	0	9	3 茶菓子代1,860円, 飲み物代16,983円, 弁当代25,250円
	(B) 合 計	1	0	5	2	8	2	7

- ① 支出の部の項目は、その内容を示す項目名称に区分してください。(消耗品費、謝礼金、交通費等)
- ② (A)と(B)の金額は一致させてください。
- ③ 支出項目の金額と、その項目の領収書の合計金額とを一致させてください。
- ④ 領収書を添付して下さい。領収書は原則、原本です。添付については、別紙作成例をご覧ください。
- ⑤ 備考欄には、決算金額の算出根拠(具体的な品名・単価・数量など)について明記してください。